

水辺の楽校とは・・・

水辺の楽校とは、身近にある川の水辺を整備し、遊びを通じた自然体験や学習の場として活用するプロジェクトで、平成8年度からスタートしました。令和3年3月時点では、全国288箇所が水辺の楽校として登録されており、その内、十勝には9箇所登録されています。

札内川 光南地区水辺の楽校

札内川光南地区水辺の楽校が平成8年に登録されてから、地域住民の方々に利用されてきました。

しかし、平成28年8月の台風による大雨の影響で、水位が上昇し、十勝川流域の様々なところで被害を受けました。この水辺の楽校も土砂や流木が堆積するなどの被害を受けたことで、利用できる環境ではなくなってしまいました。

そのため、平成28年11月に再び水辺の楽校として利用できる環境に戻すことを目的に、北海道開発局や河川協力団体が連携して、約120名で清掃活動を行いました。その翌年以降は、「実のなる木」の植樹やヤマメ放流、川カフェ、案内看板設置、水切り大会、水生動物採集・観察会などが開催されており、現在は近隣の保育所や地域住民に利用されるまでに回復しています。



台風被害後 清掃活動
(平成28年11月)



「実のなる木」の植樹
(令和2年9月)



水生動物採集
(令和4年7月)

